群馬県大学図書館協議会

会報

からつ風通信

2011第25号

発行—2011年2月28日

http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp

編集一群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7178



CONTENTS

■ 新館紹介 -		— 2
■ 研究会報告	平成22年度第1回大学図書館研究会-	— 4
■ 退職に想う		— 11

- 12

■ 第8回群馬県図書館大会・編集後記 —

新館紹介

◆群馬パース大学附属図書館◆

群馬パース大学附属図書館の新たなスタート

司書 佐藤 駿介

平成22年4月、大学の高山村から高崎市の問 屋町へのキャンパス移転に伴い、図書館も新しい キャンパスでオープンした。図書館は8階建キャ ンパスの1・2階に位置し、また入り口がキャン パス玄関の目の前となっているため、気軽に立ち 寄りやすい環境となっている。施設面では高山 キャンパス時に比べ下記のようなことを新規に導 入した。

- ①入館ゲートの設置
- ②グループ学習室を3部屋設置
- ③キャレルデスクを12席設置
- ④学生向け学内無線LANの導入

④の学内無線LANについては大学が取り入れた ことではあるが、これにより文献検索データベー スや電子ジャーナルなどが例えば教室や学生ホー ルなど、図書館にいなくても利用したい時に利用 できる環境となった。その他にも電動集密書庫の 導入や資料の焼けを防ぐための書架照明を設けた りするなど、落ち着いた雰囲気の中にも利用者・ 資料両方のことを考えた充実した設備となった。

施設以外のことではキャンパス移転に際し、医 療系のものを中心として図書約5,000冊を増やし、 少しずつではあるが資料の少なさも改善されつつ ある。

キャンパスを移転して1年が経とうとしている が、こうした設備面・資料面のこともあり、利用 者数も高山キャンパス時と比べ増加傾向にあり、 学生や教員はもちろん、高山キャンパス時には皆 無に等しかった外部利用者の新規登録が大変好調 で、地域にも浸透してきていることを実感してい る。

ただ本年度はキャンパスを移転して完全に新し いスタートだったため、始まってみないと見えて こなかった部分もあり、次年度はそういった問題 点を解決しなくてはならない。また、施設面や資 料面は以前より充実してきたものの、まだまだ サービス面においては不足している。これまで人 的な面で明らかに不足していた分、個人的に妥協 をしてしまうこともあったが、幸い今後パート職 員が増員予定であるため、サービス面に力を注い でいくことができそうである。次年度はパスファ インダー作成など図書館ホームページをもっと発 展させたり、より学生にとって有意義な情報リテ ラシー教育を行うなど、せっかく良い「学習の場」 として出来上がったので、それを活かせるよう サービス面においても図書館というものをしっか りアピールしていけたらと思う。



高崎新キャンパス(図書館は向かって 右側建物(1・2階)



1階閱覧室



2階閱覧室

【 図書館基礎データ 】

(平成22年4月1日現在)

項目	数量	項目	数量
面積	約800m²	図書冊数	約30,000冊
閲覧席	120席	雑誌種数	約120種

◆群馬医療福祉大学◆

群馬医療福祉大学図書館藤岡分館について

図書館長 中里 昌之

群馬医療福祉大学の看護学部(藤岡キャンパス)が開設したのは、平成22年4月1日のことです。 旧藤岡女子高校の跡地と言った方がわかりやすいかもしれません。藤岡地区にはじめて招致された 医療関係の高等教育機関として大きな期待が寄せられております。

平成22年11月20日には、地域・行政・大学が一体となって「第1回藤岡市民フォーラム 一医療と福祉を考える一」と題した共同企画イベントを開催いたしました。看護学部関係のものとしては、「子どもの救急法」「健康チェック&相談コーナー」「性感染症予防」などのテーマを展開し、

市民の注目を集めました。

藤岡キャンパスの大学図書館(藤岡分館)は、 地域公開を行っておりますが、市民フォーラムと いうかたちで全学を解放したイベントを1つの きっかけとして、地域と大学の関係がいくらか深 まったのではないか、と思っております。

藤岡分館としての課題は、図書館教育計画に根ざした利用指導の策定とその実践、地域関係機関との相互協力システムの構築、読書指導の推進など、たくさんあります。どうか藤岡分館に対しまして、今後ともあたたかいご指導とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。



2号館外観(図書館は2階部分)



閲覧室

研究会報告

大学図書館研究会·群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会·群馬県図書館協会 共催)

○平成22年度第1回

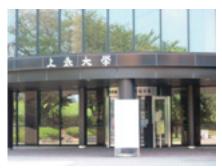
テーマ:「図書館活用法 - もっと図書館を上手に使ってもらうために-」

日 時:平成22年9月1日(水)13時30分~16時30分

場 所:上武大学高崎キャンパス 3 号館 2 0 1 教室 **参加者**: 2 8 名(大学図書館 2 1 名、高校図書館 7 名)

研修は、まず、図書館利用教育の実施状況について、4大学・短大から4名が次のとおり各25分の事例報告を行った。

- (1) 「図書館利用指導を振り返って」 群馬医療福祉大学 高草木 千鶴 氏
- (2)「学生と資料を近づける工夫のあれこれ」 育英短期大学 山田 愛子 氏
- (3)「群馬パース大学における利用教育」 群馬パース大学 佐藤 駿介 氏
- (4)「論文の探し方講習会」 群馬大学(工学分館) 堀口 純夫 氏 続いて、報告者を交えての自由討議では、疑問点を含め活発な意見交換が行われた。



会場玄関前



群馬医療福祉大学 高草木氏



育英短期大学 山田氏



群馬パース大学 佐藤氏



群馬大学 堀口氏



意見交換風景

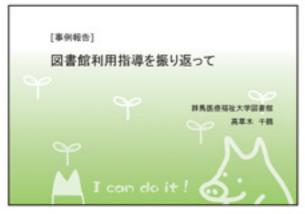
参加者の意見等

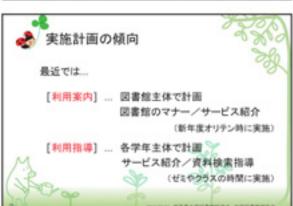
自由討議及び終了後のアンケート調査から、「身近なテーマで実務に有益であり、各大学の利用者指導、情報検索等の実状がよく理解できた」との感想が多かった。また、高校図書館からの参加者との意見交換からは、情報処理教育における高校から大学への連携の必要性も確認された。加えて、教員との連携協力、図書館の存在を学内外へアピールすることの重要性についても再確認され、実りある研修となった。なお、研究会終了後には、図書館、メディアセンターの施設見学が行われた。

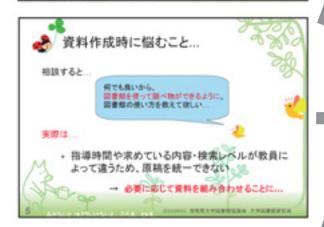
<事例報告1>

図書館利用指導を振り返って

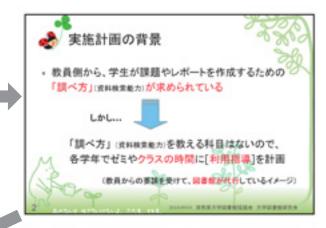
群馬医療福祉大学図書館 高草木



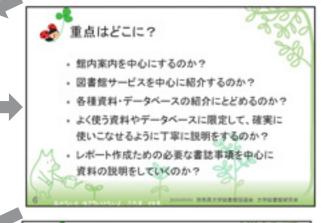




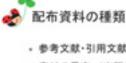




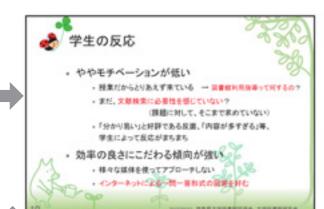




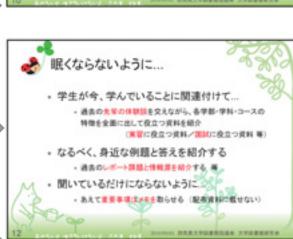


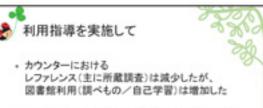


- 参考文献・引用文献の見方/書き方
- 奥付の見方 (出版年とは?)
- 必要な書誌事項とは?
- 雑誌の巻数/号数/通差ねとは?
- CiNiiの検索方法と検索結果の見方》
- その他(トライアル紹介/データベースとは?)









- 貸出については、授業の課題によって左右される 傾向が強い(利用指導の効果はあまり見られず)
- インターネット上の情報(個人サイト/Wikipedia等)

の信頼性について学生が考えるようになった



図書館利用指導のあり方/方向性の再検討

- 図書館が伝えたいサービスと利用者が求めて いる「利用指導」に若干のズレがある
- 図書館利用指導とは何なのか? (再確認)
- ゼミ/クラスによって実施内容に隔たりがある
- 3~4年生へのアプローチが無い





<事例報告2>

学生と資料を近づける工夫のあれこれ

育英短期大学図書館 山田 愛子

1. 1年生オリエンテーション

4月の入学後1週間目にクラスごとに図書館で実施 館内ツアー、利用案内、検索指導 利用案内の説明に印象を残す工夫→「立体」の利用

2. 企画展の開催

a.「しかけ絵本展」

当館所蔵のしかけ絵本(通常は開架していない作品)より約120点を展示し、自由に手にして楽しんでもらう。人気の企画展で毎年恒例となっている。

- → 図書館へ関心を持ち足を運んでもらう。 授業の利用あり。
- b.「この映画の原作知っていますか?」

所蔵の映画DVD・ビデオ作品とその原作本を一緒に並べて紹介。

→ 映像資料の興味を本に結びつける。気付かなかった本の発見。 授業の利用あり。

3. 「教職員が薦める本」コーナーの設置

教職員よりジャンルを問わず推薦図書を出してもらい、一言コメントカードを挟んで配架。

→ 図書館入口付近にブックトラックで設置してあり、学生が入館するとまずここを見ることが 多く、よく利用されている。

何を選んでよいか迷っている学生は、ここから選んでいる。

4. 絵本に対象年齢シールを貼付

実習前に学生から「○歳児向けの読み聞かせにどの絵本がいいですか?」のレファレンスが多い ことから、児童文化の教授の協力を得て、対象年齢シールを色分けで付けている。現在作業続行中。

5. 図書以外の資料の活用

- a.CDの収録曲名(特に子どもの歌)を全入力。
- b.雑誌の特集記事を入力。
 - → 一括検索ですぐ探せる。

6. 貸出バックの提供

大型絵本や紙芝居など、大きな資料の貸出を持ち運びにくさから敬遠する向きが見られ、学生からも貸出バッグの希望が出ていたことから、作成、提供。

→ 大型資料の貸出が一挙に増加。

<事例報告3>

群馬パース大学における利用者教育

群馬パース大学附属図書館 佐藤 駿介

群馬パース大学における利用者教育

平成22年度第1回大学図書館研究会 2010年9月1日(水)

群馬バース大学附属図書館

1、新キャンパス図書館について

2、昨年度~今年度の各学年別ガイダンス及び情報リテラシー教育

1、新キャンパス図書館について

平成22年4月に、吾妻都高山村から高崎市問屋町にキャン バスが移転し、図書館も新しくなった。最要は以下の通り。

面積 : 約1,000m

閲覧席 : 120席

図書冊数 : 約4万5000冊(収容能力7~8万)

2、昨年度~今年度の各学年別 ガイダンス及び情報リテラシー教育

1年生

- ①新入生図書館ガイダンス(図書館の印象 づけ)
 - ・図書館の概要やサービスの説明
 - 図書館ツアー
 - OPACの使い方の説明
 - 図書館ホームページの紹介

1年生

- ②教員と連携した初年次教育への参加(初期の情報リテラシー教育)
 - 情報の種類と性質・情報の収集
 - 情報の加工と発信・著作権について
- ・DVD『情報の達人』第1巻「図書館へ

行こう!:インターネット時代の情報活

用入門」上映

2年生

春季ガイダンス

図書館サービスや決まりごとのおさらい。 またCiNiiや医学中央雑誌などの文献検索 データベースの簡単な紹介。ただし細かい 使い方まではここでは説明せず。

3年生

看護学科

授業内での文献検索講義(看護研究) ・和文データベース

医学中央雑誌 JDream II

簡単な概要を説明後、全員で演習。

3年生

理学療法学科

- ・春季ガイダンスに文献検索ガイダンスを 組み込む(前期グループ学習、後期実習で 利用)簡単な概要を説明後、演習
 - ・12月に授業内で詳細な文献検索及び文 献管理について1時間講義(演習と質問 が中心)欧文データベースについても説 明。

大学院生

春季図書館ガイダンス

- 図書館施設とサービス紹介
- 文献検索指導

教員へガイダンス行った結果・・・

学生への文献検索の講義などの依頼増加 →図書館が情報支援という形で講義へ積極 的に参加していくことで学生へも図書館や 司書の存在意義をよりアピールできる。ま た名前も覚えてもらえる。

→図書館でのレファレンスの増加にもつな がっている。

4年生

看護学科

・ゼミ単位で教員から申込を受け、3年次 の文献検索講義のおさらい及び補足。 特に3年次講義で行わなかったPubMedや CINAHLといった欧文データベースの検索 方法もここで行っている。

教員

2008年度春季に教員向け文献検索ガイダ

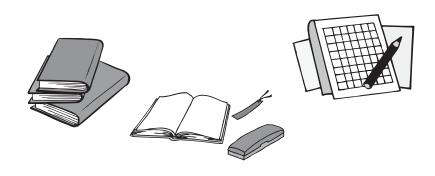
スを実施。(その後新任教員へはその都度 時間をもらって行っている)

目的・・・①教員自身の文献検索のスキル アップ

②教員への司書の専門性のアビ

今後の課題として

情報リテラシー教育を体系的に行っていくた めにより深く教員との情報交換や連携を図 っていくことが必要。(その時々のニーズに 応じたガイダンスや講義が実施できる) また、今後は学生がより効果的に自学自習 できる「場」としてラーニング・コモンズの導 入も本格的に考えていくことも必要ではない かと思われる。



<事例報告4>

論文の探し方講習会

群馬大学総合情報メディアセンター図書館工学分館 堀口 純夫

■概 要(2010年実施) ------

名 称 一度でわかる論文の探し方 基礎編

実施時期 4月~6月(11回)

実施時間 16:00~17:00 (60分)

場 所 図書館工学分館2F マルチメディア室

对 象 学部生,大学院生

受講者数 103名

方 法 資料配布,パワーポイント+解説,係員による検索実演(実習無し)

配布資料 パワーポイント資料, ネットで資料を探すには/LinkSource 資料,

文献入手までの流れ、CiNii クイックガイド、

Web of Science クイックレファレンスカード

■目 的 ------

- 1. センターが「どんなサービスを提供しているか」を知ってもらう
- 2. センターのサービスを使って、文献を検索してから入手するまでの「流れ」を身につけてもらう
 - → 「文献調査~所蔵調査~入手」の全容を解説

■内 容 ------

- ●「どんな」論文があるかを探す=文献調査
 - ・CiNii, Web of Science, Google Scholar の解説
- ●「どこに」論文があるかを探す=所蔵調査
 - ・参考文献の記述方法 …… 論題がわかる場合・雑誌名しかわからない場合
 - ・EBSCO LinkSource, EBSCO A-to-Z, 群馬大学図書館 OPAC 所蔵は, ①電子媒体 ②紙媒体 の順序で探す
 - ・ 文献複写申込の手続き
- 雑誌論文以外の文献検索 ……esp@cenet 他

■課 題 -------

対面型講習会からの脱却─→資料をネットで公開, 自習型への転換

http://www.lib.gunma-u.ac.jp/elib/shien/kensaku.html

■まとめ ------

「どんなサービスを提供しているか」を洗い出す

⇒ 「サービス間の関連性」をわかりやすく示す

退職に想う

退職にあたって

群馬大学総合情報メディアセンター図書館工学分館 福島 啓介

図書館員になることを思い立ったきっかけは何 だったのか正確には思い出せません。星新一の書 籍等の装丁で知られる真鍋博のイラストの入った 「2001年の日本」の図書館の項目が記憶に刷りこ まれたのかもしれません。 東大の入試が中止と なりその煽りを受けて?浪人生活、丁度刊行され た庄司薫の「赤頭巾ちゃん気をつけて」には田舎 とは比べようもない東京の高校3年生が描かれて いました。そんな時、また父が入院し弟たちもい ることから早く独り立ちができるものはないかと 考え、2年で仕上がり資格も得られる図書館職員 養成機関に進みました。祖父が終戦まで石炭商を 営んでいた関係や、父が諸事情により何度も転職 していた関係から「図書館員では食えない」とい う理由で賛同は得られませんでした。ただ一人教 員の経験のある母方の祖父が図書館員になること を支持してくれました。叔父の話によると祖父は 宮澤賢治と同じ盛岡高等農林卒で米国留学を志し 英会話を学ぶために通った教会で接点があったの でしょうか「春と修羅」を所蔵していました。残 念ながらサイン本の函は壊れ、大水で水濡れ本に なってしまったそうです。

学生生活は先輩から歴代ご指名で引き継がれたアルバイト、近くの日本大学農獣医学部図書館で時給120円の書庫出納員に授業と授業の間に通い、1万円貯まると夜行列車に乗って全国の城巡りに出かけるといった生活を送っていました。おかげで学業の方はさっぱりで採用試験にかろうじて引っかかった時は教務係の人から不思議がられるくらい、当時流行っていたビートルズ成らぬ"「B」取るず"で単位数もギリギリの低空飛行でした。

40年近い図書館員生活を振り返ると経験した 業務には偏りがあり図書館業務全般をカバーして いません。加えてある機関では広報出版担当とな り、テクニカル・レポートの出版やちょうど開催 されたつくば万博に出展する展示物やパネルの作 製に携わったことは一つの思い出となっています が、それやこれやで同僚からは「経験長い割には 何も知りませんね」とよく言われます。数度の転 勤の経験を十分活かすこともなく「転石苔を生ぜ ず」のことわざどおり成熟した図書館職人に成長 出来なかったことが悔やまれます。

私にとって図書館業務は肉体作業でした。就職 後、幾つかの機関を異動しましたが、行く先々で 必ず書架の増設や、図書室移転に伴う書架作業等 がありました。二度の工学分館勤務では和雑誌 バックナンバー架のリボン式排架の解消、3か所 に分かれていた寄贈雑誌架の統合を始めとして、 増加する蔵書に伴う細かな書架移動などが日常で す。毎朝の開館準備では月ごとにローテーション で回ってくる返本排架担当の月が密かな楽しみで す。返却された本を所定の棚に返しながら誤排架 の戻しや今後の増加を見込みどれくらい棚に開き スペースを設けるか、分類・著者記号のどこで段 を変えるか、サイズの大きい図書をどう組み込む かなどを考えながら作業しています。時々熱中し て開館時間の9時を大きく回ってしまうこともあ ります。書架の乱れは「シジフォスの岩」にも似 ています、昨日整えた書架も翌日にはもう乱れて います。メタボ、加齢と老眼で書架の最上段や最 下段の作業は年ごとにしんどくなっています。腰 痛になってからは書架作業も以前のようにはいか なくなり、図書館での存在意義が薄れてきました。 町のブック・オフに出かけた際も思わず均一コー ナーで同一著者、同一書名本を並べ替えたりして いる自分に気が付き、病膏肓に入るとはこのこと かと独り言ちています。定年後はキャンピング カーで城巡りと併せて全国の図書館を巡り"押し かけシェルフリーディング爺"になるという夢は 腰痛を始めとして各診療科巡りの毎日になりそう なので残念ながら断念です。

図書館はいろいろな作家の作品の中に描かれますが、村上春樹の本にも幾つか図書館に関する記述があります。その中で「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」に登場する「夢読み」という役割は非常に魅力的です。また「海辺のカ

フカーの中の甲村記念図書館のモデルはどこなの かは今も気になっています。工学分館の改修計画 も現実味を帯びてきましたが、残念ながら私は見 届けることができません。ただ自分の過ごしてき た図書館とはかけ離れていくような気がし寂しくましたのはひとえに周りの皆様のご助力のおかげ もあります。インドの図書館学者ランガナタンのです。大変お世話になりました。

図書館学5原則にある「図書館は成長する有機体 である」ということなのでしょう。

定年までの15年間を郷里の群馬大学で過ごす ことができ、何とかゴールに辿りつくことが出来

大会報告:

第8回群馬県図書館大会

~ 開かれた図書館 国民読書年・読む楽しさを伝える ~

去る11月26日(木)、群馬県立図書館、群馬県図書館協会主催、群馬県教育委員会、群馬県読書グルー プ連絡協議会、群馬県読み聞かせグループ連絡協議会後援のもと標記大会が開催され、延べ参加者数 は474人(大会行事・記念講演 266人、分科会 208人)に達し前回の448人を上回り活況を呈した。

- ★午前の部 式典 記念講演:清水克衛氏「そんなあなたに、この本をおススメします」
- ★午後の部 第1分科会「電子書籍は、図書館をどう変えるか」

第2分科会「読む楽しさを伝えよう!~大人になる前に本を手渡すくふう~|

第3分科会「図書館が調べる力をサポートしよう!~成長段階に合わせたレポート作 成支援~|



記念講演 清水克衛氏



表彰式会場風景



第1分科会



第2分科会



第3分科会

- 編 集 後 記:

本号では、4月にオープンした群馬パース大学高崎新キャンパス、群馬医療福祉大学藤岡キャンパスについて ご紹介いただきました。どちらの場合も、地域に根ざした高等教育の展開を企図したものであろうと忖度されま すが、本協議会としても、地域連携、地域協力の推進のために、1組織として何ができるかを鋭意検討してゆく 必要があるのではないでしょうか。